

きじむんの どう〜ちゅいむにい〜 第12回
人面獣身



キーワード：へいろっぱあ・さんかい・白沢(はくたく)

ぐすーよー、平成 27 年度ぬまじむん話ん、3 月号さーに終わやびーん。応援
いっぺーにふえーでーびたん(みなさま、平成 27 年度の妖怪話も 3 月号でお
わります。応援大変ありがとうございました)！

今回登場する妖怪は「へいろっぱあ」！『琉球奇譚』(ハワイ大学所蔵阪巻・宝玲文庫デジタルアーカイブ資料 HW464-C1 P.11)で確認できます。どんな妖怪かというと、喜界島の海に住んでいて、頭は人、体はトラのよう。水上を走りまわり、ウミヘビを常食とする。人を見て大笑いするが、害は及ぼさない…見た目はコワイですが、何となく悪い妖怪ではなさそう。

近世の地誌や民俗誌の中には、こういう「人面獣身」型の妖怪がたまに出没します。

江戸時代の医師、寺島良安(てらじまりょうあん)編さんの『和漢三才図会』の「巻第 40 寓類 怪類」の中にも、似た妖怪が出てきます。名前は「さんかい」。体は犬に似て、人面で、よく飛び回る、人を見ると笑い、風のように走る…へいろっぱあとよく似ていますね！

「さんかい」東洋文庫 466
『和漢三才図会 6』P151

おしまいに、「白沢(はくたく)」を紹介します！人の言葉を話し、徳のある王者の治世に出現する聖獣といわれています。目は顔に3つ、胴体に6つあります。城間清豊(自了)の描いた「白沢図」が有名。こんな不思議な妖怪を思いついた昔の人の豊かな想像力には、現代人もかないません！

さて、今回紹介した妖怪に、どこで会えるか？それは琉球大学附属図書館ホームページのデジタルアーカイブ「阪巻・宝玲文庫」ほか下記の参考文献で会えます。興味あるあなた、ぜひお読み下さいね！



今回の主役、へいろっぱあです！頭人の如く、体は虎のごとしと自称していますが…顔は人に似ていず、体もひづめが違って牛(か馬?)のよう。よろしくね～

文献で会えます。興味あるあなた、ぜひお読み下さいね！
(NK)

参考文献：

1. 有川薫重編集「琉球奇譚伝真記」『翁問答・保辰琉聘録・琉球奇譚・神道記集成(解訳)』沖縄郷土文化研究会・南島文化資料研究室、1976、P.251
2. 島田勇雄・竹島淳夫・樋口元巳訳注『東洋文庫 466 和漢三才図会 6』平凡社、1987、P.151
3. 城間清豊筆「白沢図」『開館記念特別展「美のシリーズ」第3弾 うるま ちゅら島 琉球』九州国立博物館編集・発行 2006、P.135



「白沢図」



QR コードはココ！